



補習校だより

平成25年度 第16号

平成25年8月24日発行

マイアミ補習校

校長 永井 晋

事務所 305-406-0050

校長携帯 917-521-5768

ホームページ miamihoshuko.org

E-mail hoshuko@bellsouth.net

現地校と補習校

校長 永井 晋

夏休みが明け、現地校も始まりました。アメリカでは学年が一つ上がります。つまり新年度を迎えたわけです。アメリカの学校は始業式がないと聞きました。日本とはずいぶん違いますね。日本の新年度の始まりはこんな風でした。

朝、登校すると先生が学年通信を校舎の外で配っています。その学年通信を見て、自分は何組なのか、誰と同じクラスなのかを確認します。そして、自分の教室に入り、鞆を置いて、体育館に行きます。まだ、背の順が決まってないので、番号順に自分のクラスに並びます。そして、始業式が始まり、校歌を歌い、校長先生のお話を聞いた後、いよいよ担任の先生の発表です。そして、始業式が終わると、自分の教室に戻り、新しい担任の先生の自己紹介が始まります。

学校や地域や学年で多少違いがあるかもしれませんが、こんな感じです。ちょっとドキドキしますね。いっぽうアメリカの学校はどうなのでしょう。始業式がないとするとどうやって自分のクラスを知るのでしょうか。もっとも、中学校になると教科担任制で、教室を移動するし、選択科目も多いのであまりクラスは関係ないのかもしれませんが、しかし、転校生にとっては酷な状況ですね。日本の場合には、校長室で待機し、朝職員室で紹介され、担任の先生と一緒に教室へ。そして、クラスメイトに紹介されるわけです。アメリカは紙を渡され、自分で判断し、教室を探し当てなければならぬと聞きました。しかも、保護者は校内に入れない。日本から来たばかりの転校生にとっては厳しい状況ですね。補習校で勉強している日本からの子供たちもそんな思いをしたのでしょうか。補習校が少しでも力になればという思いでいっぱいです。

